

H20年度総合評価(市民文化課所管施設)

施設名	三の倉市民の里	文化会館	学習館	図書館	子ども情報センター
指定管理者名	(財)文化振興事業団	(財)文化振興事業団	(財)文化振興事業団	(財)文化振興事業団	
指定期間	5年(H18/4/1～H23/3/31)	5年(H18/4/1～H23/3/31)	5年(H18/4/1～H23/3/31)	5年(H18/4/1～H23/3/31)	
設置目的	人と自然とのふれあいの 中で、青少年の健全育成 を図るとともに、広く市民 の生涯学習を推進するた めの宿泊研修施設。	市民の文化、芸術及び教 養の向上並びに福祉の増 進を図るための施設。	市民一人一人の学習・文化 活動を支援促進するととも に、生涯学習に係る事業の有 効的な実施の推進を図ること により、市民文化の向上に寄 与するための施設。	図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存 して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、 レクリエーション等に資することを目的とする施設。	
報告書類等の提出状況	良好	良好	良好	良好	良好
運営・利用状況	利用状況	良好	良好	良好	良好
	市事業の実施	期待以上	期待以上	良好	良好
	自主事業	期待以上	期待以上	期待以上	期待以上
施設管理状況	施設管理	良好	良好	良好	良好
	備品管理	良好	良好	良好	良好
	その他管理	良好	良好	良好	良好
収支状況(円)	総収入	50,724,572	202,418,364	162,200,157	157,684,234
	内利用料金収入	6,965,022	27,561,614	11,601,550	-
	内指定管理料	42,072,450	99,726,350	132,740,000	156,730,000
	支出	48,486,919	197,581,250	140,681,355	140,341,339
	収支	2,237,653	4,837,114	21,518,802	17,342,895
市民利用者の声の反映	良好	良好	良好	良好	良好
全体的評価	他施設、他市にはない 特色があり、それを活か した運営管理を行っている。 いろいろな記念事業を実 施し大変好評であった。 職員の創意工夫により 体験教室等様々な事業を 企画し利用者確保に努め ている。	文化会館の存在意義や 文化芸術の必要性が認知 されるよう引き続き積極 的な事業展開を行っている。 協定に定める額を超える 修繕や備品購入を実施し ている。	1階AVコーナーを改修し来 館者の憩いのスペースとし た。アンケートでは「とても良 かった」「快適で良い」とい う意見が多く寄せられている。 市民のニーズに即した講座 を設定したことにより事業収 入が増加した。	引き続きレファレンス機 能のレベルが高く、利用者 に好評である。 市民の関心が高い講座 を実施した。 季節やテーマに合わせ た企画展示を80テーマ実 施したことにより、貸出冊 数が増加。	高校生への情報の充実 も図っており、中高生の認 知度も上がっている。 中高生にもっと子ども情 報センターを利用してもら うために、「部活サポート」 事業を実施したところ、大 変多くの高校生が来館し 好評であった。
利用人数・前年度比増減率	延べ20,256人 (前年度比0.6%増)	延べ209,947人 (前年度比1.8%減)	延べ96,530人 (昨年度比3.5%増)	延べ165,452人 (前年度比5.7%増)	延べ5,166人 (前年度比7.2%増)
増減の理由	とくになし。	ホールの利用が若干減少 している。	1FのAVコーナーの改修によ り、実際の来館者はもっと増 加していると思われる。	市民ニーズに沿った企画 展示や講座の展開による ものと思われる。	中高生への認知度が上 がったことによるものと思 われる。

H20年度総合評価(市民文化課所管施設)						
施設名		旭ヶ丘公民館	市之倉公民館	養正公民館	南姫公民館	脇之島公民館
指定管理者名		(財)文化振興事業団	(財)文化振興事業団	(財)文化振興事業団	(財)文化振興事業団	(財)文化振興事業団
指定期間		5年(H18/4/1～H23/3/31)	5年(H18/4/1～H23/3/31)	5年(H18/4/1～H23/3/31)	5年(H18/4/1～H23/3/31)	5年(H18/4/1～H23/3/31)
設置目的		地域住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする施設。				
報告書類等の提出状況		良好	良好	良好	良好	良好
運営・利用状況	利用状況	良好	良好	良好	良好	良好
	市事業の実施	良好	良好	良好	良好	良好
	自主事業	良好	良好	良好	良好	良好
施設管理状況	施設管理	良好	良好	良好	良好	良好
	備品管理	良好	良好	良好	良好	良好
	その他管理	良好	良好	良好	良好	良好
収支状況(円)	総収入	21,766,105	20,129,820	22,388,645	23,735,995	21,802,340
	内利用料金収入	-	-	-	-	-
	内指定管理料	20,725,000	19,224,000	21,397,000	22,267,000	21,144,000
	支出	19,738,649	18,427,895	20,615,122	21,573,797	19,328,445
	収支	2,027,456	1,701,925	1,773,523	2,162,198	2,473,895
市民利用者の声の反映		良好	良好	良好	良好	良好
全体的評価		全体的な施設の管理運営に関しては概ね良好である。 地域の子どもの居場所づくりに貢献している。	管理運営は概ね良好。 地域の団体との連携を取り、地域と一体となった事業を推進している。 新しく地域講師を発掘し、新たな講座を実施した。	概ね良好に管理が行なわれている。 地元の高校との連携を図るなど地域の公民館として認識。 他の地域の公民館との交流を行っている。	管理運営は、概ね良好。 スローライフ事業を積極的に推進しており、他公民館・他地域との交流を図っている。 平成20年度全国優良公民館表彰を受賞。	管理運営は概ね良好。 地域の文化的イベントとして映画会を実施。 校区内に公民館だより等をポスティングし、積極的に広報を行っている。
利用人数・前年度比増減率		延べ49,266人 (前年度比10.3%減)	延べ23,749人 (前年度比25.7%減)	延べ48,662人 (前年度比4.3%減)	延べ38,416人 (前年度比13.2%減)	延べ26,789人 (前年度比4.8%減)
増減の理由		H19までは同一団体が部屋を複数利用した場合の利用人数が重複していたが、H20からは実利用人数に改めたため、数字上は大きく減少した。 各部屋の利用率、使用料収入総額も前年とほぼ同じであり、実際の利用人数はさほど変わらないと思われる。	人数の減少については左記のとおりだが、1回あたりの利用人数の多い大ホールの利用率が減少しているため、大きな減少となったと思われる。 その他の施設利用率、使用料収入総額は前年とほぼ同じである。	人数の減少については左記のとおり。 利用率、使用料収入総額は増加しており、他公民館と比較しても利用人数の下がり幅が小さいことから実際の利用人数は増加しているものと思われる。	人数の大幅な減少については左記のとおり。 利用率、使用料収入総額ともに全体的に減少しており、全体的に利用者はやや減少しているものと思われる。	人数の減少については左記のとおり。 利用率、使用料収入総額は増加しており、他公民館と比較しても利用人数の下がり幅が小さいことから実際の利用人数は増加しているものと思われる。

H20年度総合評価(市民文化課所管施設)				
施設名	小泉公民館	精華公民館	市民活動交流支援センター	
指定管理者名	(財)文化振興事業団	(財)文化振興事業団	多治見まちづくり株式会社	
指定期間	5年(H18/4/1～H23/3/31)	5年(H18/4/1～H23/3/31)	4年(H18/4/1～H22/3/31)	
設置目的	地域住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする施設。		市民が自発的に行う公益性のある活動で営利を目的としないものの実施に係る市民交流の場を設け、もって市民活動を支援するとともにその健全な発展の促進に寄与することを目的とする施設。	
報告書類等の提出状況	良好	良好	若干不備あり	
運営・利用状況	利用状況	良好	良好	
	市事業の実施	良好	良好	
	自主事業	良好	良好	
施設管理状況	施設管理	良好	良好	
	備品管理	良好	良好	
	その他管理	良好	良好	
収支状況(円)	総収入	23,828,415	24,747,025	5,707,000
	内利用料金収入	-	-	-
	内指定管理料	22,444,000	23,102,000	5,487,000
	支出	21,702,916	22,078,524	5,266,453
	収支	2,125,499	2,668,501	440,547
市民利用者の声の反映	良好	良好	良好	
全体的評価	管理運営については、概ね良好。 ロビーの椅子や机を替えたことにより、雰囲気がとても良くなった。 積極的に公民館自主事業を実施している。	公民館自主事業を積極的に実施している。 全体的な施設の管理運営については、概ね良好。 団塊世代に合わせたテーマで講座を企画し、利用拡大に努めている。	おおむね良好な管理がされているが、個々の市民へのアプローチなど積極的な取り組みが必要。 報告書類等の提出状況の不備は、年報及び決算報告書の提出が遅れたものであり、期限内に提出するよう指示した。	
利用人数・前年度比増減率	延べ46,866人 (前年度比18.0%減)	延べ58,453人 (前年度比0.3%減少)	延べ8,859人 (前年度比1.1%減少)	
増減の理由	人数の減少理由については他公民館と同じ。 各部屋の利用率、使用料収入総額はほぼ前年と同じであり、実際の利用人数はほとんど変わらないと思われる。	人数の減少理由については他公民館と同じ。 利用率、使用料収入総額は前年度より若干増加しており、実際の利用人数は前年度よりも増えていると思われる。	とくになし。	

H20年度総合評価(子ども支援課所管施設)						
施設名	池田保育園	なかよし療育センター	旭ヶ丘児童センター	根本児童センター	市之倉児童センター	
指定管理者名	(福)いしずえ会	(福)社会福祉協議会	(福)社会福祉協議会	(福)社会福祉協議会	(福)社会福祉協議会	
指定期間	5年(H18/4/1～H23/3/31)	5年(H18/4/1～H23/3/31)	5年(H18/4/1～H23/3/31)	5年(H18/4/1～H23/3/31)	5年(H18/4/1～H23/3/31)	
設置目的	保育に欠ける乳児又は幼児を保育することを目的とする。	心身に障害のある幼児に対し、通園の場を設け、日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練、相談及び健診を行い、その育成を支援するための心身障害児通園施設。	本市に居住する幼児及び少年に健全なる遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにするための指導をおこなう施設。			
報告書類等の提出状況	良好	良好	良好	良好	良好	
運営・利用状況	利用状況	良好	良好	良好	良好	
	市事業の実施	良好	良好	良好	良好	
	自主事業	—	良好	良好	良好	
施設管理状況	施設管理	良好	良好	良好	良好	
	備品管理	良好	良好	良好	良好	
	その他管理	良好	不備が目立つ	良好	良好	
収支状況(円)	総収入	102,962,289	38,050,000	9,915,751	10,632,684	9,605,596
	内利用料金収入	3,880,440	—	—	—	—
	内指定管理料	96,341,419	38,050,000	9,723,000	10,350,000	9,387,000
	支出	104,634,323	45,209,854	11,080,884	10,814,545	11,377,790
	収支	-1,672,034	-7,159,854	-1,165,133	-181,861	-1,772,194
市民利用者の声の反映	良好	不備が目立つ	良好	良好	良好	
全体的評価	保育所管理・保育所運営自体は概ね市の方針を踏まえており良好である。入所児童数が年間通じて定員に満たず、収入不足となったため赤字収支となった。	個人情報保護以外の項目については、良好に運営されていたが、施設を管理運営する上で最も重要な個人情報保護の管理ができていなかったため、低い評価となった。 収支については、職員配置の変更及び給食運搬のために人を雇ったため、人件費が増加し大幅な赤字となった。	協定書に基づき、事業を適正に執行している。 低学年の児童や女児の来館が増えており本来の児童館機能が働き出している。 実際の職員配置数に変更はないが、新たにパート職員を採用しローテーションで配置することとしたため、収支が赤字となった。	協定書に基づき、事業を適正に執行している。 地域の特色を生かした事業を行い、地域の支援者との連携も良好である。 実際の職員配置数に変更はないが、新たにパート職員を採用しローテーションで配置することとしたため、収支が赤字となった。	協定書に基づき、事業を適正に執行している。 障がい者との交流やボランティア育成に積極的に取り組んでおり評価できる。 実際の職員配置数に変更はないが、新たにパート職員を採用しローテーションで配置することとしたため、収支が赤字となった。	
利用人数・前年度比増減率	延べ992人 (前年度比6.1%減)	延べ4,940人 (前年度比6.8%減)	延べ30,020人 (前年度比14.6%増加)	延べ32,221人 (前年度比21.0%増加)	延べ17,748人 (前年度比5.0%減少)	
増減の理由	年度の前半は、やや定員割れが生じていたが、後半は、ほぼ定員(90人)に近い入所があった。	保育園・幼稚園の併行通園児の人数と単独の通園児では一週間の通い方(日数)が違う。併行通園児の割合が増えたため。	施設内外の環境整備を実施した結果、安心して来館しやすい雰囲気が出来たことによると思われる。	特に乳幼児クラブの利用者が増加したことによる。	乳幼児クラブの参加者が減り、乳幼児と大人の利用者数が減少したため。	

H20年度総合評価(子ども支援課所管施設)						
施設名	脇之島児童センター	坂上児童館	本土児童館	共栄児童館	中央児童館	
指定管理者名	(福)社会福祉協議会	(福)社会福祉協議会	(福)社会福祉協議会	(福)社会福祉協議会	(株)日本保育サービス	
指定期間	5年(H18/4/1～H23/3/31)	5年(H18/4/1～H23/3/31)	5年(H18/4/1～H23/3/31)	5年(H18/4/1～H23/3/31)	5年(H18/4/1～H23/3/31)	
設置目的	本市に居住する幼児及び少年に健全なる遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにするための指導をおこなう施設。					
報告書類等の提出状況	良好	良好	良好	良好	良好	
運営・利用状況	利用状況	良好	良好	良好	良好	期待以上
	市事業の実施	良好	良好	良好	良好	期待以上
	自主事業	良好	—	—	—	—
施設管理状況	施設管理	良好	良好	良好	良好	良好
	備品管理	良好	良好	良好	良好	良好
	その他管理	良好	良好	良好	良好	良好
収支状況(円)	総収入	10,363,718	9,391,371	9,212,394	9,517,531	9,514,574
	内利用料金収入	—	—	—	—	—
	内指定管理料	10,161,000	9,146,000	9,067,000	9,277,000	9,330,000
	支出	9,850,349	10,195,201	10,100,899	11,757,717	9,400,749
	収支	513,369	-803,830	-888,505	-2,240,186	113,825
市民利用者の声の反映	良好	良好	良好	良好	良好	良好
全体的評価	協定書に基づき、事業を適正に執行している。 自主事業は、障がい児とふれあい事業を行い、児童館における障がい児の居場所づくりを学校や保護者と連携しながら進めており評価できる。	協定書に基づき、事業を適正に執行している。 保育園、幼稚園などの他機関との交流を行い利用者から好評を得ている。 社会福祉協議会の全体の中で人事異動を行うため、職員の勤務年数の差により給与差が生じ、赤字となった。	協定書に基づき、事業を適正に執行している。 利用者とのコミュニケーションも良好で相談件数も増えている。 社会福祉協議会の全体の中で人事異動を行うため、職員の勤務年数の差により給与差が生じ、赤字となった。	協定書に基づき、事業を適正に実施している。 職員の勤務態度について良い評価を得ている。 社会福祉協議会の全体の中で人事異動を行うため、職員の勤務年数の差により給与差が生じ赤字となった。	協定書に基づき、事業を適正に実施している。 「クッキング保育」や「英語で遊ぼう」、「お父さんとの交流事業」など毎回参加者も多く、また事業内容についてもマンネリ化しないよう工夫されており評価できる。	
利用人数・前年度比増減率	延べ25,328人 (前年度比5.9%減少)	延べ26,603人 (前年度比5.7%減少)	延べ17,087人 (前年度比2.6%増加)	延べ27,447人 (前年度比5.4%増加)	延べ26,296人 (前年度比26.6%増加)	
増減の理由	全体的な児童数の減少によるものと思われる。	減少の理由は具体的には不明。	中高生の利用は減ったが、その他の個人利用が全体的に増えたことにより増加した。	気軽に立ち寄り利用する人が増えたことと思われる。	目標回数以上の事業展開により、参加者が増えたため全体の利用者が増えている。特に乳幼児親子の利用が増えている。	

H20年度総合評価(子ども支援課所管施設)

施設名	大原児童館				
指定管理者名	(株)日本保育サービス				
指定期間	5年(H18/4/1～H23/3/31)				
設置目的	本市に居住する幼児及び少年に健全なる遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにするための指導をおこなう施設。				
報告書類等の提出状況	良好				
運営・利用状況	利用状況	期待以上			
	市事業の実施	期待以上			
	自主事業	—			
施設管理状況	施設管理	良好			
	備品管理	良好			
	その他管理	良好			
収支状況(円)	総収入	9,390,662			
	内利用料金収入	—			
	内指定管理料	9,080,000			
	支出	9,593,752			
	収支	-203,090			
市民利用者の声の反映	良好				
全体的評価	協定書に基づき、事業を適正に執行している。 栄養士による子どもの栄養を考慮したレシピを利用した事業が定着し、毎回好評を得ている。また、利用者の声を聴いた迅速な対応についても評価できる。 収支赤字については人件費の増加により昨年度より支出が増えたため。				
利用人数・前年度比増減率	延べ28,572 (前年度比9.5%増加)				
増減の理由	乳幼児・園児を対象とした事業展開により、乳幼児親子の来館が増えた。				

H20年度総合評価(福祉課・高齢福祉課所管施設)				
施設名	総合福祉センター	高齢者能力開発研修センター	多容荘	サンホーム滝呂
指定管理者名	(福)社会福祉協議会	(社)シルバー人材センター	(福)美濃陶生苑	(福)社会福祉協議会
指定期間	5年(H18/4/1～H23/3/31)	4年(H18/4/1～H22/3/31)	5年(H17/4/1～H22/3/31)	5年(H18/4/1～H23/3/31)
設置目的	児童、老人、障がい者、母子家庭等に対して各種の福祉サービスを提供するとともに、市民の福祉活動を助長し、市民福祉の増進を図るための施設。	高齢者に就業の機会を提供するとともに、高齢者の生きがい活動を推進するための施設。	養護老人ホーム	児童、老人等に対して各種の福祉サービスを提供するとともに市民の福祉活動を助長し、福祉の増進を図るための施設。
報告書類等の提出状況	良好	良好	良好	良好
運営・利用状況	利用状況	良好	良好	良好
	市事業の実施	良好	良好	良好
	自主事業	良好	良好	良好
施設管理状況	施設管理	良好	良好	良好
	備品管理	良好	良好	良好
	その他管理	良好	良好	良好
収支状況(円)	総収入	116,940,334	2,596,000	95,074,494
	内利用料金収入	-	-	-
	内指定管理料	112,520,000	2,596,000	92,726,136
	支出	100,827,754	2,492,860	85,570,848
	収支	16,112,580	103,140	9,503,646
市民利用者の声の反映	良好	良好	良好	良好
全体的評価	協定書に基づき、事業を適正に執行している。提出書類についても期限を遵守している。	協定書に基づき、事業を適正に執行している。	協定書に基づき、事業を適正に執行している。	協定書に基づき、事業を適正に執行している。 地域の人材をうまく取入れながら事業展開している。また、個々の相談も他機関と連携し丁寧に対応されている。 自主事業として障がい児サロンを実施しており、評価できる。
利用人数・前年度比増減率	老人福祉センター：53,144人 (16.2%増) 障害者福祉センター：4,922人 (8.7%増) 児童センター：51,462人 (2.2%増) 母子福祉センター：5,767人 (0.3%減) 会議室：42,052人 (11.3%減)	4,414人(相談者等を含む。) (前年度比12.7%増)	利用人数：33名 (平成20年度末時点) 平成19年度末時点：34人	利用人数 老人センター：26,094人 (前年度比1.8%増) 児童センター：32,844人 (前年度比4.5%減)
増減の理由	ほとんどのセンターで利用者が増加した。児童センターについては中高生スペースが定着し利用者が増えた。会議室の使用が減少した要因として、各センターの事業で使用したことにより他の利用が減少したものと推測する。	自主事業としてパソコン講座の開催回数を増加したことによると思われる。	とくになし。	各種教室の充実が図られたことにより、老人センターの利用率が増加。

H20年度総合評価(福祉課・高齢福祉課所管施設)

施設名	ふれあいセンター姫	かさはら福祉センター		
指定管理者名	(福)社会福祉協議会	(福)社会福祉協議会		
指定期間	5年(H18/4/1～H23/3/31)	3年(H20/4/1～H23/3/31)		
設置目的	児童、老人等に対して各種の福祉サービスを提供するとともに市民の福祉活動を助長し、福祉の増進を図るための施設。	老人、障がい者等に対して各種の福祉サービスを提供するとともに、市民の福祉活動を助長し、市民福祉の増進を図るための施設。		
報告書類等の提出状況	良好	良好		
運営・利用状況	利用状況	良好		
	市事業の実施	良好		
	自主事業	良好		
		—		
施設管理状況	施設管理	良好		
	備品管理	良好		
	その他管理	良好		
収支状況(円)	総収入	26,061,046	25,089,000	
	内利用料金収入	1,177,950	—	
	内指定管理料	24,880,000	25,089,000	
	支出	30,965,071	24,388,833	
	収支	-4,904,025	700,167	
市民利用者の声の反映	良好	良好		
全体的評価	協定書に基づき、事業を適正に実施している。 休館日を月曜日から日曜日に変更し平日の子どもの安全な居場所を提供している。	協定書に基づき適正に管理運営されている。		
利用人数・前年度比増減率	利用人数 老人センター：9,872人 (前年度比14.2%増) 児童センター：33,356人 (前年度比11.2%減)	延べ12,961人 (前年度比32.6%増)		
増減の理由	老人センターの利用増については、60歳代の個人利用と新しい教室が増えたことによる。 児童センターの利用減については、子どもの数の減少に伴う乳幼児クラブ参加者の減少、小学生クラブ開催曜日変更による参加者の減少、児童館まつりとふれあいセンター姫まつりの統一による減少などによるものと思われる。	笠原地域社協の活動が本格化しており、活動場所として、当センターで講座、教室等の開催を実施したことや、ビリヤード台を増設したことにより利用者が増加したことによる利用者増と思われる。		

H20年度総合評価(産業観光課所管施設)

施設名	勤労者センター	文化工房	産業文化センター		
指定管理者名	(財)多治見市事業公社	(株)共栄電気炉製作所	(株)ビーウェル		
指定期間	3年(H18/4/1～H21/3/31)	5年(H18/4/1～H23/3/31)	5年(H18/4/1～H23/3/31)		
設置目的	勤労者の福祉の増進を図るための施設。	ものづくりと人の交流の場の提供を通して、来訪者の誘致を促進し、中心市街地の活性化に資するための工房・ギャラリー。	産業及び生活文化に関する事業の実施及び生活情報等の提供により、産業の振興を図り、市民の生活文化の向上に寄与するための施設。		
報告書類等の提出状況	良好	良好	良好		
運営・利用状況	利用状況	良好	良好		
	市事業の実施	—	良好		
	自主事業	良好	良好		
施設管理状況	施設管理	良好	良好		
	備品管理	良好	良好		
	その他管理	良好	良好		
収支状況(円)	総収入	9,370,200	30,323,112	75,634,223	
	内利用料金収入	—	1,566,420	14,134,223	
	内指定管理料	9,370,200	17,900,000	61,500,000	
	支出	9,003,909	29,909,026	72,560,227	
	収支	366,291	414,086	3,073,996	
市民利用者の声の反映	良好	良好	良好		
全体的評価	運営管理に関しては各項目の評価からも良好と判断される。	ギャラリー企画展や自主企画講座に対する利用者の評価は高い。魅力的な企画内容に加えてマスコミ露出度も高く、集客数の増加につながっている。今後も魅力的な企画展・講座を開催するとともに工房の利用率向上に向けた事業展開が望まれる。	全体的に適正に管理されている。ただし、産業と文化の発展に資すべき施設であることを十分に認識し、本来の設置目的に適合するような自主事業を積極的に開催する必要がある。 また、施設の利用率を上げるための積極的な取り組みが必要である。		
利用人数・前年度比増減率	延べ25,774人 (前年度比6.5%増)	延べ20,320人 (前年度比10.2%増)	延べ79,108人 (前年度比7.5%増)		
増減の理由	利用者は昨年よりもわずかであるが増加した。	ギャラリーの利用日数が前年比で31日増。	イベントプラザの活用(展示等)による利用人数の増加が要因であると考えられる。		

H20年度総合評価(建設総務課所管施設)				
施設名	土岐川観察館		駐車場	
指定管理者名	河川自然環境保全復元団体 リバーサイドヒーローズ		(財)多治見市事業公社	
指定期間	3年(H18/4/1～H21/3/31)		3年(H18/4/1～H21/3/31)	
設置目的	土岐川の自然及び文化を活用し、市民の土岐川に対する関心を高めることにより、親しみのある河川づくり及び河川環境の保全を図ることを目的とした施設。		道路環境を整備し、交通に係る事故の防止と交通の円滑化を図り、かつ利用者の利便の増進に資するため。	
報告書類等の提出状況		良好	良好	
運営・利用状況	利用状況	良好	良好	
	市事業の実施	期待以上	—	
	自主事業	—	—	
	施設管理	良好	良好	
施設管理状況	備品管理	良好	良好	
	その他管理	良好	良好	
収支状況(円)	総収入	15,574,610	61,716,000	
	内利用料金収入	—	—	
	内指定管理料	15,570,500	61,716,000	
	支出	14,307,880	59,397,240	
	収支	1,266,730	2,318,760	
市民利用者の声の反映		良好	良好	
全体的評価	事業内容にも熟知しており、積極的な活動を行っている。施設内の清掃・メンテナンスは常に行われている。屋外で活動する際には、安全面を重視して実施している。 関係機関(市民団体、自然団体、関係行政等)とのパイプが太いため、協働して実施できている。		各駐車場施設における管理運営は良好である。 利用者の視点にたった要望等もあり、事故等の対応についても適切な処理がなされており、報告もされている。	
利用人数・前年度比増減率	延べ8,055人(前年度比1.4%減)		○自動車 一般利用:99,611件(前年度比1.8%増) 定期利用:110,941件(前年度比3.0%減) ○自転車 一般利用:2,417件(前年度比5.7%減) 定期利用:4,076件(前年度比6.2%増)	
増減の理由	とくになし。		自動車の一般利用の増加は、中央パークイングの廃止に伴う豊岡駐車場の利用率向上の影響と思われる。 自転車の定期利用の増加は、燃料費の高騰やエコ通勤の浸透に伴う増加ではないかと思われる。	

H20年度総合評価(教育総務課所管施設)

施設名	屋外体育施設	体育館	
指定管理者名	財団法人 多治見市事業公社	株式会社 コパン	
指定期間	5年(H18/4/1～H23/3/31)	5年(H18/4/1～H23/3/31)	
設置目的	市民の健康の増進を図るための運動場等。	市民の体育、スポーツ及びレクリエーションの振興を図り、もって市民の心身の健全な育成に寄与するための施設。	
報告書類等の提出状況	若干不備あり	良好	
運営・利用状況	利用状況	良好	
	市事業の実施	—	
	自主事業	若干不備あり	
施設管理状況	施設管理	良好	
	備品管理	良好	
	その他管理	良好	
収支状況(円)	総収入	101,026,190	66,696,927
	内利用料金収入	18,496,190	15,323,938
	内指定管理料	82,530,000	51,352,384
	支出	99,245,633	62,803,664
	収支	3,056,856	3,893,263
市民利用者の声の反映	良好	良好	
全体的評価	体育施設の維持管理については、これまでの実績に基づいて清掃等が行われているが、まだ不十分な面も見受けられる。 報告書類等の提出状況の不備については、自主事業報告書の写真添付と収支報告の記載をするよう指示した。 新しい試みとして、共栄テニスコートの現地での貸し出し受付は評価できる。 許可書の裏面を利用したアンケート調査を20年度から実施しているが、あまり効果が得られていないため、適切なアンケートの収集方法等について検討すること。 自主事業について、昨年度と比較し、自主事業回数や参加人数も増加し良好であるが、同一種目に偏っている傾向がある。市民ニーズを把握し、事業を展開すること。 できるだけ多くの利用者の意見が集約できるような方法等について検討すること。	指定管理者として利用者へのサービスを第一に考え、市民ニーズの把握に努め、ニーズにあった事業の展開に心掛け、苦情にも真摯に対応しており、利用者からの評判も良い。また、職員研修も積極的に行っており、利用者とのコミュニケーションにも努めている。 経理、利用実績は、前年度と比較しても全体としては概ね良好である。	
利用人数・前年度比増減率	利用人数:245,970人 (前年度比:8.29%増)	利用人数:185,962人 (前年度比:3.42%減)	
増減の理由	多治見市運動広場、脇之島運動広場、旭ヶ丘弓道場、第2テニス、脇之島テニス以外の施設は利用人数が前年を上回っている。 脇之島テニスは1月、2月にオムニコートへの改修工事を行ったため利用できず、利用者が昨年を下回っている。 滝呂テニスは現地貸し出しを行った結果、利用人数が伸びていると考えられる。	通常、衆議院議員選挙の開票会場となるが、選挙の動向で利用できるかが不明であったため、利用者が笠原体育館へ移動したことにより利用人数が減少した。 第1競技場が、2ヶ月間修繕工事のため使用できなかったため利用人数が減少している。 平成19年度12月にバレーボールのVプレミアリーグの開催で人数は増加したが、20年度にはそのような大きな大会がなかったため利用人数が減少している。	

H20年度総合評価(笠原振興課、市民文化課、緑化公園課、教育総務課所管施設)					
施設名	笠原中央公民館		多治見市図書館笠原分館	笠原運動公園	笠原体育施設
指定管理者名	(財)文化振興事業団		(財)文化振興事業団	(財)文化振興事業団	財団法人 文化振興事業団
指定期間	3年(H20/4/1～H23/3/31)		3年(H20/4/1～H23/3/31)	3年(H20/4/1～H23/3/31)	3年(H20/4/1～H23/3/31)
設置目的	地域住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする施設。		図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設。	市民の健康の増進を図るための運動場等。	市民の体育、スポーツ及びレクリエーションの振興を図り、もって市民の心身の健全な育成に寄与することを目的とする。
報告書類等の提出状況		良好	良好	良好	良好
運営・利用状況	利用状況	期待以上	良好	良好	期待以上
	市事業の実施	良好	良好	－	良好
	自主事業	期待以上	良好	－	良好
施設管理状況	施設管理	良好	良好	良好	良好
	備品管理	良好	良好	－	良好
	その他管理	良好	良好	良好	良好
収支状況(円)	総収入	120,676,471			
	内利用料金収入	9,982,130			
	内指定管理料	105,118,000			
	支出	116,775,473			
	収支	3,900,998			
市民利用者の声の反映		良好	良好	良好	良好
全体的評価	多彩な事業を展開し、以前まで中央公民館を利用しなかった者を利用者として取り込んでおり、裾野の拡大につながっている。 ロビーコンサート、ギャラリー展示等利用者数を算出できない事業を多数開催しているため、実際の利用者は、本総合評価書に記載する利用者数よりも多い。 積極的に修繕、備品購入を行っており、利用者の安全性、利便性が向上した。 利用者の要望、苦情に対しての対応が早くて確である。		貸出人数、貸出冊数ともに平成19年度と比べて増加した。 平成20年度は蔵書の整理を努力して行い、大幅に良くなってきている。 笠原中央公民館との協同での「KASAHARAシネマウィーク」事業や展示等を実施した。	概ね良好である。	指定管理者として利用者へのサービスを第一に考え、市民ニーズの把握に努め、ニーズにあった事業の展開に心掛け、苦情にも真摯に対応しており、利用者からの評判も良い。また、職員研修も積極的に行っており、利用者とのコミュニケーションにも努めている。 指定管理者に移行し、利用者、利用率、利用料収入等も増加している。 大会時の体育館利用者の昼食場所として公民館施設を貸し出し、評判もよい。 修繕についても、指定管理者として利用者へのサービスを第一に考え対応が早い。
利用人数・前年度比増減率	延べ37,516人 (前年度比7.8%減)		延べ8,865人 (前年度比20.0%増)	－	利用人数:99,645人 (前年度比:16.36%増)
増減の理由	H19までは同一人物が複数部屋を使用した場合重複してカウントしていたため、実際よりも多く集計されていた。H20は実人数でカウントしたため、数値上は減となっているが、実際の利用は増えている。		利用人数、貸出件数ともに増加している。中央公民館との共同事業等による影響があると思われる。	なし。	第1競技場、第2競技場、向島運動広場は件数は増加しているが、利用人数は若干減少している。 その他の施設については、件数、利用人数ともに増加している。 通常、衆議院議員選挙の開票会場は総合体育館になるが、選挙の動向がはっきりしなかったため、利用できるかどうかかわからず、総合体育館から笠原体育館へ利用者が移動したことが考えられる。 総合体育館の第1競技場が1月、2月工事のため使用できず、今まで総合体育館を利用していた方々が笠原体育館を利用したと考えられる。